

土管第 202 号
平成25年3月29日

土木部各課（室）長
土木部各出先機関の長 様

土木管理課長

橋梁の設計における雪荷重について

このことについて、下記の通り通知します。なお、橋梁の設計における「再現期間10年に相当する年最大積雪深」については、「道路橋計画・設計マニュアル」の廃刊（廃止）に伴い、別添図-1のとおり近年の積雪実績を考慮して見直しますので適切な運用をお願いします。

記

1 除雪される橋梁

常時およびレベル1地震時においては約15cmの圧雪に相当する雪荷重(1kN/m²の等分布荷重)を載荷させるものとする。なお、レベル2地震時には雪荷重を見込まないものとする。

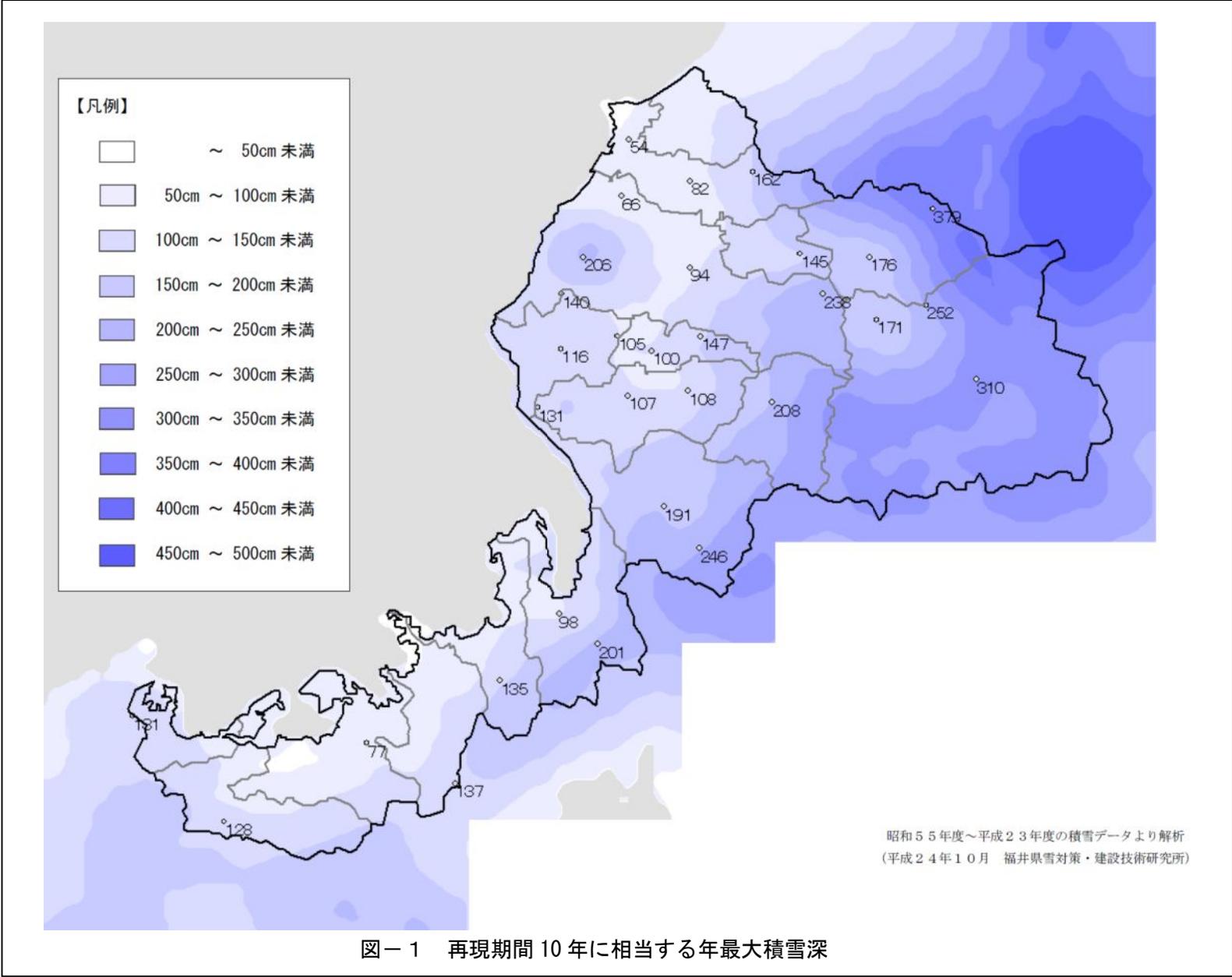
2 除雪されない橋梁

常時においては、架橋位置における再現期間10年に相当する年最大積雪深を載荷する。年最大積雪深は近傍の積雪記録を用いて統計処理を行うことを原則とする。

なお、近傍に記録がない場合は別添図-1を参考にしてもよい(各架橋地点の積雪深は按分して50cm単位に切り上げるものとする)。積雪の平均単位体積重量は3.5kN/m³を見込めばよい。

地震時の設計においては、地震と再現期間10年に相当する年最大積雪深の積雪が同時に起こる確率は極めて少ないことから、レベル1地震時には1kN/m²の等分布荷重を見込み、レベル2地震時には雪荷重を見込まないものとする。

土木管理課 技術管理G
(内3319)



図－1 再現期間10年に相当する年最大積雪深